

だいもん おおしま

# 大門・大島地区

(富山県射水市)

- 計画期間 平成26年度～平成30年度
- 面積 643ha
- 交付対象事業費 934百万円
- 市人口 91,458人

**ポイント** 新庁舎周辺の公共公益施設を活用した交流の促進、新庁舎の防災拠点化及びデジタル防災行政無線網の整備を行うことにより、交流により心がふれあう、安全・安心で快適な居住環境の創出を図る。

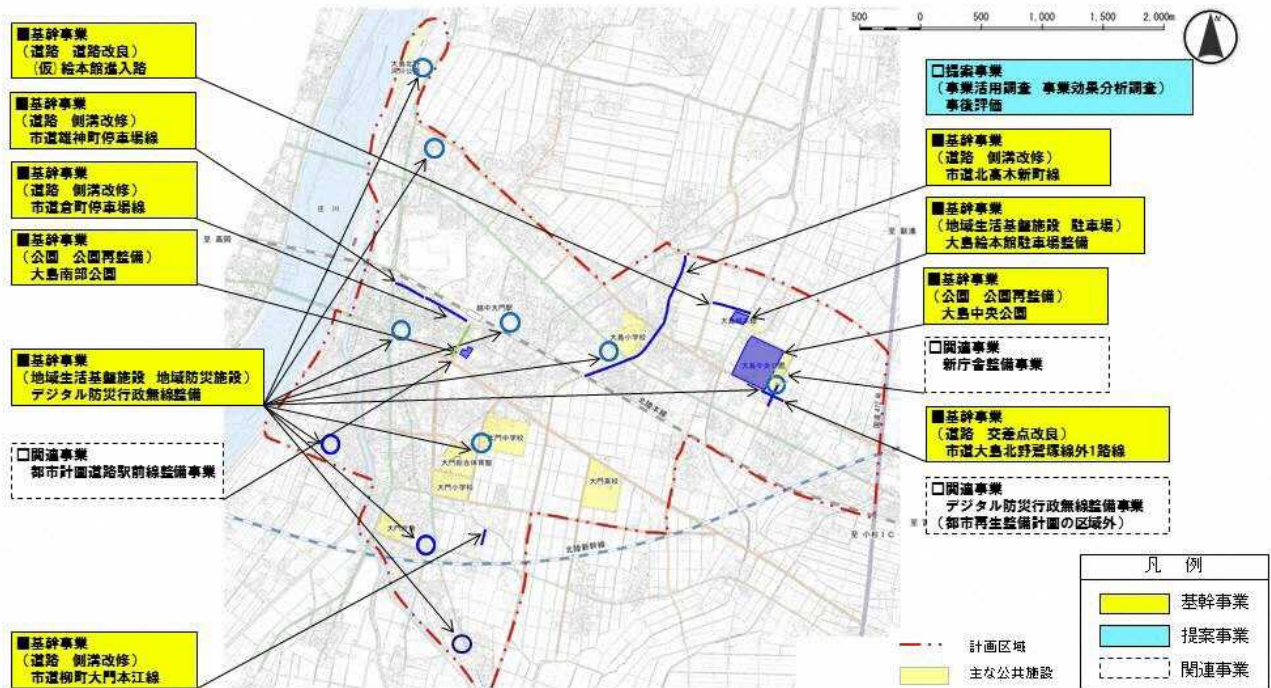
**地区概要** 北陸本線の越中大門駅を中心とした一体性のある市街地を形成している地区であり、地区北東部には新庁舎建設も計画されている。

**目標** 交流により心がふれあう、安全・安心で快適な居住環境を創出するまちづくり

**指標** 交流により心がふれあう効果として、駅の利便性向上と地区内居住人口を指標とするとともに、安全・安心で快適な居住環境の創出効果としてデジタル防災行政無線の整備率を指標とした。

越中大門駅の乗降客数	285,195人/年 (H24)	→	377,397人/年 (H30)
地区内居住人口数	16,534人 (H24)	→	16,764人 (H30)
都市再生整備計画区域内のデジタル防災行政無線のカバー率	7% (H25)	→	100% (H30)

**事業内容** 基幹事業 (930.0百万円) → 道路 (幅員 6.0m~8.8m、延長 1,970m、交差点改良 1箇所)、公園 (6.0ha)、地域生活基盤施設 (駐車場、地域防災施設)  
 提案事業 (4.0百万円) → 事業活用調査 (事業効果分析調査)



## 地区の現況と課題

### 越中大門駅周辺の利便性向上

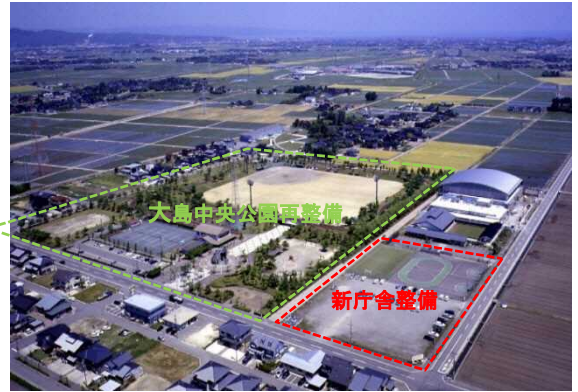
北陸新幹線開業と合わせた平行在来線（北陸本線）第三セクター化に伴い、鉄道利用環境の変化による越中大門駅利用者数の減少が懸念されることから、地区の交通拠点である越中大門駅周辺の利便性向上及び利用促進を図ることが課題である。

### 公共公益施設を活用した交流の促進

新庁舎建設を契機に、周辺の公共施設を一体的に整備することにより、今後、地区の拠点性向上が予想されることから、周辺交通の円滑化やコミュニティの向上、交流の促進が課題である。

### 安全・安心な居住環境の創出

地区内では防災行政無線の未整備箇所があるなど防災機能の強化が急がれており、新庁舎の防災拠点化及びデジタル防災行政無線網の整備や狭隘な道路の改善等を行い、地区住民が安全・安心に居住できる環境を創出することが課題である。



新庁舎整備・大島中央公園再整備前



新庁舎整備・大島中央公園再整備後(庁舎側より)

## 計画策定プロセス

### 庁内関係課による検討会議

庁内において、関係部局等で構成した検討会議を開催し、今後のまちづくり方策について検討した。

### 住民代表者との意見交換

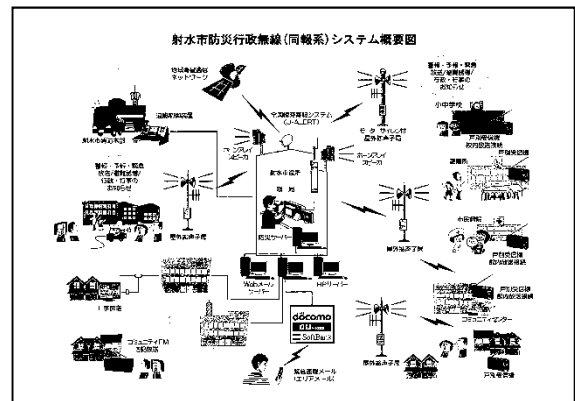
地元各種団体代表者と、今後のまちづくりについて意見交換を行い、計画に反映させた。



越中大門駅前周辺（駅前広場）



大島中央公園「ふわふわドーム」



デジタル防災行政無線概要図